

暫間被覆冠 作製 器材



基本セット



形成用ハンドピース・ポイント類
タービン 5倍速FGコントラ



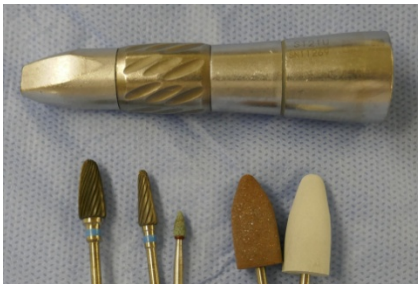
ポリクラウン



レジンセット
液・粉 筆 筆拭き用ガーゼ



ワセリン・小綿球



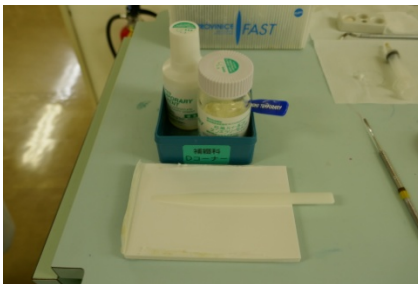
ストレートハンドピース



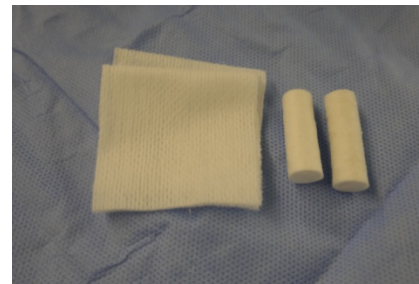
金冠鉗・曲 調整・研磨用バー類



咬合紙 (赤青)・ホルダー
コンタクトゲージ 青・黄



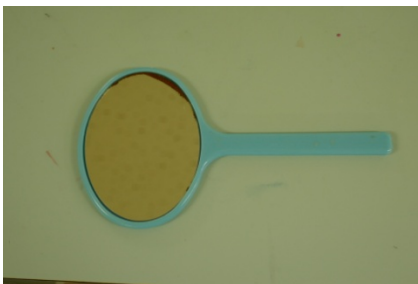
仮着セメント 練板・スパチュラ
隣接面充填器



防湿用ロールワッテ
仮着時咬合用ガーゼ



仮着材除去用デンタルフロス



仮着後 患者確認用 手鏡

暫間被覆冠作製 器材 チェックリスト

基本的配置場所 診：診療テーブル サ：サイドテーブル

- ◇診 基本セット
- ◇診 形成用 タービン 5倍速 ポイント類
- ◇サ ポリクラウン レジン粉・液
- ◇サ パイル皿 レジン筆 (柄・筆) 筆拭きガーゼ
- ◇サ ワセリン 塗布用小綿球
- ◇サ診 辺縁調整用金冠バサミ 曲
- ◇診 調整用カーバイトバー類 カーボランダム等
- ◇診 研磨用ビックポイント 茶・白
- ◇診 ストレートハンドピース
- ◇診 コンタクトゲージ 青・黄
- ◇診 咬合紙 赤・青 ホルダー2本
- ◇サ 仮着セメント 紙練板 スパチュラ
- ◇サ 隣接面充填器
- ◇診 仮着時防湿用ロールワッテ
- ◇診 仮着時咬合用ガーゼ
- ◇サ 仮着材除去用デンタルフロス
- ◇サ 患者確認用手鏡
- ◇ 自験の際、必要に応じ機材を追加可能

前歯暫間被覆冠 作製 マニュアル

- ・ 外来に入室したら通常の手順に従い身支度を行なう。
- ・ ユニット、基本セット等を使用可能な状態にする。
- ・ 患者担当医（以下担当医）が指示した形成器具の準備をする。
St. Dr. が形成する場合は各自使用する形成器具を準備する。
- ・ 患者の来院を確認して、患者をユニットに誘導する。
- ・ これから行なう治療内容を簡潔に患者に説明する。
- ・ 指導医にこれから支台歯形成することを伝えて、形成を行なう。
(形成は担当医でもよいが、一部分でも St. Dr. が行なうことが望ましい)
- ・ 形成終了後は適切な支台歯形態であるかを確認し、指導医に報告する。
- ・ 指導医の了承後、St. Dr. が暫間被覆冠の作製について患者に説明する。
- ・ St. Dr. は暫間被覆冠の作製に必要な機材を準備、使用できる状態にする。
- ・ St. Dr. は既製冠を用いた直接法で、通法に従い作製操作を行なう。
(装着していた暫間被覆冠を既製冠の代りに再使用することも可能)
- ・ 調整、研磨等が終了したことを指導医に報告し、了承を得る。
- ・ St. Dr. が支台歯に仮着する。仮着材は担当医が練和する。
- ・ 仮着後に咬合状態等の確認したことを指導医に報告し、了承を得る。
- ・ St. Dr. は患者に現在の口腔内状況と次回の予定を説明し治療を終了する。
- ・ ユニットの後片付け後に、グローブ・マスクを廃棄する。
- ・ 必要な書類の記載と指導医のフィードバックをしてもらう。
- ・ 次回の予約を確認する。
- ・ F 領域、水準の検印後に、使用済器具を消毒室に運ぶ。